



“買い物支援”で見守り強化

社会福祉協議会の使命である“地域福祉”の中でも、「衣食住の確保」という視点は、人が人として暮らしていくための基本であり、とりわけ「食」の確保、「食生活を支える買い物環境」の確保は、これまでの福祉の枠組みを超えた新たな生活課題となっています。

買い物に困っている人が増えてきました

現在、小規模集落や都市部周辺住宅団地に暮らしている人たちが、流通機能や交通網の弱体化に伴い、食料品等の日常の買い物が困難な状況になっています。このような「買い物弱者」といわれる人たちは、全国に610万人以上いると推測され、大きな社会問題となっています。

本会では積極的にこの問題に取り組む、また課題解決をはかる団体について、支援・協働を続けてきました。



朝市おおつ

本会の取り組みのひとつが地域交流朝市「朝市おおつ」です。

本会がある総合社会福祉会館と隣接している「大空団地」が高齢化し、都市部にありながらも、買い物に困っている方が著しく増加しているという声を受けて、東日本大震災の復興支援と併せて始めました。

大分県就労支援施設協議会や生活協同組合コープおおいたの皆様にご協力いただきながら3年間続けてきた結果、地域の皆様の交流の場として定着しつつあります。



コープおおいた移動販売 ～ふれあいコープ便～

3年間続けてきた「朝市おおつ」に続き、このたびコープおおいたの移動販売車が、試行的に大空団地を訪問するという取組みが始まりました。これは、大空団地の買い物弱者問題の解決に向けた画期的な取組みです。

～ふれあいコープ便が訪れた様子～



だいふくんが取材に行きました。ご近所の皆さんの憩いの場になっていましたよ！

毎週土曜日10時～ 大空団地

～移動販売車に買い物に来た方々の声～

月曜日はスーパーまで行くけど、土曜日はここを毎週利用しています。遠くまで行くのが1回減っただけでもすごく助かっています。



若くないから、荷物をもって歩道橋の階段を上るのは大変でした。移動販売車が来てからは、ここで買い出しができるから嬉しいです。



お肉とか牛乳とかの生鮮食品も売っているし、お総菜もあるから、毎週楽しみにしています。

* 今回の相談 *

「さくらかーさん」の
子育て
Q & A

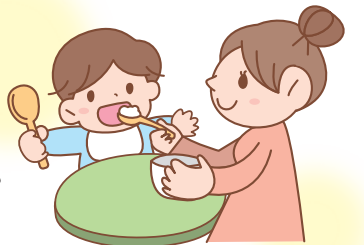
離乳食の与え方 について聞きたい



「さくらかーさん」の子育てQ & Aはだいふくんのお母さん「さくらかーさん」が子育てのお悩み相談をうけます。第1回目のテーマは、「離乳食の与え方について」です。それでは、相談内容について聞いてみましょう。

11か月の男の子がいるお母さんからの相談です。

- ブルブル〜♪ (着信音)
- はい。こちらは、いつでも子育てほっとラインです。
- あの～、子どもの食事についてのことなんですが、相談にのっていただけるんですかね？
- はい。大丈夫ですよ。どういったご相談ですか。
- あの～、最近、子どもが手づかみで食事を食べるようになったので、スプーンで食べさせるようにしたところ、1週間くらい前から自分で食べようとしなくなったんですよ。また、同じ年齢の子どもと比べると食が細いようで、ニンジンやブロッコリーなどを小さく刻まないと食べられないんです。なので、子どもの好きなヨーグルトや果物を置いて、「あと3口食べたらね」というふうに食事の途中でヨーグルトや果物を食べさせていたんですが、逆にご飯やおかずを食べないでデザートばかり食べるようになったんです。どうしたら、ちゃんと食べるようになるんでしょうか？
- そうなんです。初めてのお子さんですか？
- そうなんです。育児書を参考にしているんですけどね。
- 育児書を参考にしているんですね。初めてのお子さんでもあり、いろいろと分からないことも多い中、野菜を小さく刻むなど工夫してがんばっておられますね。それではまずお子さんの発達についてですが、発達には個人差がありますので、お子さんが以前と比べてどうなっているのかということと比較してみてもどうでしょうか。手づかみというのは、この時期の特徴的な行動です。汚したりして片付けが大変だとは思いますが、成長の過程と割り切って大らかに見守ってはどうかと思います。また、明らかに遊び始めたら片付けるなど食事にメリハリをつけるという方法もおすすめですし、何よりお母さん自身が子どもと一緒に食事をして、美味しそうに食べている姿を見せるようにするというのが大事なことだと思いますよ。
- 子どもにご飯を食べさせることばかりを考えてしまい、デザートで釣って食べさせようとしていました。これからは、子どもと一緒に食事を楽しんで食べるようにしてみます。ありがとうございました。



今日も、一つ子育ての悩みを解決したさくらかーさん。自分の経験や知識をもとにこれからもいろんな悩みを聞いていきたいと張り切るのでした。

「さくらかーさん」の
子育て
ワンポイント解説



【育児環境】

- 核家族化や少子化により、現代の子育て世代は育児に関する知識や経験を十分に身につけられないまま大人になっていることも多くあります。
- 仕事や結婚のために親元を離れ、祖父母など身近な親族の支援を受けにくい場合も多くあります。

この事例は、大分県子ども・女性相談支援センターで実施されている「いつでも子育てほっとライン」(0120-462-110/24時間、365日対応)の相談をもとに作っています。